

おおさき男女共同参画推進ニュース



第

20

号

発行：H24.5.1

大崎市男女共同参画  
庁内推進本部推進委員会

表題は一緒に歩む男女共同参画をイメージしています

平成23年度男女共同参画推進事業について

今号は、平成23年度の推進事業について、ご紹介いたします。大崎市男女共同参画推進基本計画の制定から2力年が経過しました。これまで、2年間の年次報告書を公表しています。

さて、平成23年度は、DV（デートDVも含む）予防啓発に力を入れました。今年度は東日本大震災により学校側の調整により、高校生対象の予防学習会を市内公立高校2校で開催しました。また、地域毎に開催している移動学習会でも地域の民生委員に参加を依頼しDVをテーマに外部講師を招き開催しました。

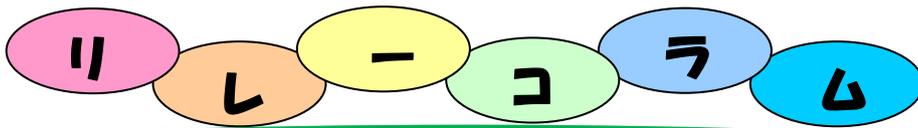
毎日のように悲しい報道が絶えない昨今ですが、未然に防ぐ最大の方法として、啓発活動が一番だと考えています。加えて、第一線で活動している外部講師に依頼することで、本当に身近で誰にでも降りかかる可能性が高いことを痛感します。

また、大震災により精神的・経済的なダメージを受けてしまい、心配事を話すこともできずにいると込んでしまったストレスを家庭内で爆発させてしまうケースも多いようです。

このようなことから、市では、男女共同参画推進室を始め相談窓口を設置している関係部署と連携を強めています。

古川地域の女性団体連絡協議会の協力を得て、ピンクリボン運動とレンジ袋撲滅運動や女性リーダー養成講座「大崎塾」の開催、古川医師会を通じての男女共同参画相談室の周知ポスターの配付依頼を行いました。

平成24年度の計画案では、従来の啓発事業に加え、講演会やアンケート調査を計画しています。



大崎東部更生保護女性会として

市民参画の  
リレーコラム

昨年、千年に一度と言われる未曾有の大震災から1年が経過しました。お互い励まし合いの毎日の中で、安心・安全な大崎のまちづくりに全力で協力すべき今があるように思われます。

私たち更生会は、活動の目的達成のために保護司会と綿密な連携の基に「犯罪のない明るい社会」の実現のために活動しているボランティア団体です。加えて、今年県下第1号の更生保護サポートセンターが岩山総合支所内に開設されました。これから活動の大きな拠点として活用できるものです。

年間行事の計画としては、常に更生会要領の教訓を念頭にして、広く各団体と親善交流を重ねながら宮城県大会・全国会員研修に参加します。また、更生保護関係機関や施設訪問などで、心の善意を持っての暖かさや細やかさを生かし、心ならずも罪を犯した人の立ち直りを支援し、犯罪予防にみんなで力を合わせ「本当に心豊かな地域づくり」に活動を惜しまない更生保護女性会です。

「リレーコラム」へは、市民参画による寄稿を頂いております。次号発行予定では、「市内各種団体」の掲載を予定しています。

大崎東部更生保護女性会 代表 南條 勇さん



# 啓発事業を紹介します！

## デートDV予防学習会

今年度は、古川黎明高校と岩出山高校のみの開催となりましたが、2校で565名の参加がありました。



## ピンクリボン運動

古川地域の女性団体による連絡協議会と協力を得て、啓発運動を開催しました。

今後は、規模を大きくしたいと意気込んでいます。



## 移動学習会

平成23年度は、鹿島台・古川・鳴子地域で開催しました。鹿島台地域と古川地域では、DVをテーマに学習しました。



女性コーディネーター養成講座「大崎塾」震災により、予定していた回数を縮小して全4回の講座となりましたが、受講生による企画として「生涯にわたる女性の健康づくり」を行いました。



## 男女共同参画推進審議会

平成22年度の進捗状況を2回の審議会と1回の作業部会により、審議しました。年次報告書はホームページより閲覧できます。



おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、みなさんのご意見・感想・情報をお待ちしております。  
大崎市民協働推進部まちづくり推進課  
男女共同参画推進室 電話 23-5069